

分野（領域）	専門分野Ⅱ 【成人看護学】	科目名	成人看護学方法論Ⅱ (内分泌・代謝)
単位（時間）	1 (30時間うち15時間)	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	専任教員		
科目目標	内分泌・代謝機能障害のある患者の症状、検査、治療を理解し、必要な看護が理解できる。		
【講義内容】 序章 第1章：A 医療の動向と看護 B 患者の特徴と看護の役割 第6章： A・疾患の経過と看護 ①急性期患者の看護 ②慢性期患者の看護 ③継続看護 B・内分泌疾患患者の看護 ①内分泌疾患の検査を受ける患者の無看護 ②下垂体疾患患者の看護 ③甲状腺疾患患者の看護 ④副甲状腺疾患患者の看護 ⑤副腎疾患患者の看護 練習問題(内分泌) DVD C・代謝疾患患者の看護：糖尿病疾患患者の看護～運動療法 ▶薬物療法～糖尿病教室 ▶糖尿病患者の(食事療法が必要な患者の事例)への教育指導の留意点 ▶糖尿病患者の治療と検査(血糖自己測定技術) ①脂質異常症患者の看護 ②肥満患者の看護 ③尿酸代謝異常患者の看護 ④るい瘦患者の看護			
【テキスト／参考文献】 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 6 病気が見える（糖尿病・代謝・内分泌） MEDIC MEDIA			
【評価】 学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			

分野（領域）	専門分野Ⅱ 【成人看護学】	科目名	成人看護学方法論Ⅱ (腎・泌尿器)
単位（時間）	1 (30時間うち15時間)	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	外部講師		
科目目標	腎・泌尿器機能障害のある患者の症状、検査、治療を理解し、必要な看護が理解できる。		
<p>【講義内容】</p> <p>第1章 腎・泌尿器の看護を学ぶにあたって</p> <p> A：医療の動向と看護</p> <p> B：患者の特徴と看護の役割</p> <p>第6章 患者の看護</p> <p> A：疾患を持つ患者の経過と看護</p> <p> B：症状に対する看護</p> <p> C：検査を受ける患者の看護</p> <p> D：内科的治療を受ける患者の看護</p> <p> E：泌尿器科的治療を受ける患者の看護</p>			
<p>【テキスト／参考文献】</p> <p>系統看護学講座 専門基礎Ⅱ 成人看護学[8] 腎・泌尿器 第1章 第6章</p>			
<p>【評価】</p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>			